

令和7年度 带状疱疹定期予防接種のお知らせ

带状疱疹について



- 带状疱疹は、痛みを伴う皮膚の病気です。
- 带状疱疹は水痘带状疱疹ウイルスが再活性化することにより、神経に沿って、痛みを伴う水疱（水ぶくれ）が現れる皮膚の病気です。
- 子どもの頃に水ぼうそうになったことがある方が、年齢を重ねて免疫力が低下すると発症するとされ、日本人の9割がこのウイルスを保持しています。
- 合併症の一つに、皮膚の症状が治った後にも痛みが残ることがあり、日常生活に支障をきたすこともあります。
- 带状疱疹は、加齢と関係していて、80歳までに約3人に1人が带状疱疹になると言われており、70歳代で発症する方が最も多くなっています。

带状疱疹定期予防接種について



実施期間

予診票到着後～令和8年3月31日

組換えワクチンを選択した場合、2回接種を行う必要があります。1回目と2回目は、2か月以上の間隔をあける必要があるため、2回目の接種を期間内に打ち終われるように期限に余裕をもって打ちましょう。

対象者

- ①今年度中に下記の年齢になる方※令和8年4月1日時点の年齢
- 65歳（昭和35年4月2日～昭和36年4月1日生まれの方）
 - 70歳（昭和30年4月2日～昭和31年4月1日生まれの方）
 - 75歳（昭和25年4月2日～昭和26年4月1日生まれの方）
 - 80歳（昭和20年4月2日～昭和21年4月1日生まれの方）
 - 85歳（昭和15年4月2日～昭和16年4月1日生まれの方）
 - 90歳（昭和10年4月2日～昭和11年4月1日生まれの方）
 - 95歳（昭和5年4月2日～昭和6年4月1日生まれの方）
 - 100歳以上（大正15年4月1日以前生まれの方）

- ②60～64歳（昭和40年4月2日～昭和35年4月1日）で、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能の障害があり、日常生活がほとんど不可能な方

※過去に带状疱疹ワクチンを任意に接種したことがあり、定期接種で再度予防接種を行う必要がないと医師が判断する場合は対象外となります。

経過措置

令和7年度から令和11年度までの5年間は経過措置として、その年度内に65・70・75・80・85・90・95・100歳となる方が対象となります。令和7年度に限り101歳以上の方も対象となります。この経過措置が終了すると、接種当日に65歳の方のみが対象となる予定です。対象者は年度によって異なるため、接種の機会を逃さないようにご注意ください。

持ち物

予診票※予診票は油性ボールペンでご記入ください。（消せるボールペン不可）
接種費用

带状疱疹ワクチンは2種類あります

- 带状疱疹ワクチンには2種類あり、接種方法や効果、自己負担額が異なります。どちらのワクチンも带状疱疹やその合併症に対する予防効果が認められています。
- どちらか1種類のワクチンを選んで接種してください。

接種方法

乾燥弱毒生水痘ワクチン
「ビケン」
皮下に接種

シングリックス
筋肉内に接種

接種回数と間隔

乾燥弱毒生水痘ワクチン
「ビケン」

1回

シングリックス

2回（2か月以上の間隔を空ける）
※病気や治療により、免疫の機能が低下したまたは低下する可能性がある方等は、医師が早期の接種が必要と判断した場合、接種間隔を1か月まで短縮できます。

自己負担金

乾燥弱毒生水痘ワクチン
「ビケン」

2,500円

シングリックス

6,500円 × 2回分

ワクチンの効果

乾燥弱毒生水痘ワクチン
「ビケン」

シングリックス

接種後
1年時点

6割程度の予防効果

9割以上の予防効果

接種後
5年時点

4割程度の予防効果

9割程度の予防効果

接種後
10年時点

—

7割程度の予防効果

※ 合併症の一つである、带状疱疹後神経痛に対するワクチンの効果は、接種後3年時点で、乾燥弱毒生水痘ワクチン「ビケン」は6割程度、シングリックスは9割以上と報告されています。

接種に注意が必要な方

乾燥弱毒生水痘ワクチン 「ビケン」

輸血やガンマグロブリンの注射を受けた方は治療後3か月以上、大量ガンマグロブリン療法を受けた方は治療後6か月以上置いて接種してください。

シングリックス

筋肉内に接種をするため、血小板減少症や凝固障害を有する方、抗凝固療法を実施されている方は注意が必要です。

共通事項

- 心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患等の基礎疾患を有する方
- 予防接種を受けて2日以内に発熱や全身の発疹などのアレルギー症状があった方
- けいれんを起こしたことがある方
- 免疫不全と診断されている方や、近親者に先天性免疫不全症の方がいる方
- 带状疱疹ワクチンの成分に対してアレルギーを起こすおそれのある方

接種できない方

乾燥弱毒生水痘ワクチン 「ビケン」

病気や治療によって、免疫が低下している方は接種できません。

シングリックス

免疫の状態にかかわらず接種可能です。

共通事項

- 当日明らかな発熱（37.5℃以上）がある方
- 薬を飲む必要があるような重篤な急性疾患にかかっている方
- 予防接種によってアナフィラキシーショックを起こしたことがある方
- その他、医師が不適当な状態と判断した場合

主な副反応

	乾燥弱毒生水痘ワクチン 「ビケン」	シングリックス
70%以上	－	疼痛*
30%以上	発赤*	発赤*、筋肉痛、疲労
10%以上	そう痒感*、熱感*、腫脹*、 疼痛*、硬結*	頭痛、腫脹*、悪寒、発熱 胃腸症状
1%以上	発疹、倦怠感	そう痒感*、倦怠感、その他の疼痛
頻度不明	アナフィラキシー、 血小板減少性紫斑病、 無菌性髄膜炎	ショック、アナフィラキシー

*ワクチンを接種した部位の症状

注意事項

- 予防接種は接種を受ける法律上の義務はなく、自らの意思で接種を希望する方のみが行うものです。接種対象者の意思が確認できない場合には接種できません。
- 予防接種を受ける前には必ずこの説明文を読み、必要性や副反応（健康被害）についてよく理解した上で、予防接種予診票の「予防接種希望書」に自署してください。
- 予防接種をした後、「予防接種済証」が医療機関から渡されますので、大切に保管してください。
- 麻痺等があり、予診票に署名ができない場合は、ご家族等の代筆者が接種を受ける方の氏名を記入し、さらに代筆者氏名及び接種を受ける方の続柄を記入してください。医療従事者の代筆はできません。

予防接種を受けた後の注意

- 接種後30分間は、急な副反応が起こることがあるので、医師（医療機関）とすぐに連絡を取れるようにしておきましょう。
- 副反応の多くは24時間以内に出現しますので、特にこの間は体調に注意しましょう。
- 入浴は差し支えありませんが、注射をした部位を強くこすることはやめましょう。
- 接種当日はいつもどおりの生活をしても構いませんが、激しい運動や多量の飲酒は避けましょう。

他のワクチンとの同時接種について

带状疱疹ワクチンは、医師が特に必要と認めた場合に、インフルエンザワクチンや新型コロナウイルスワクチン等と同時接種が可能です。乾燥弱毒生水痘ワクチン「ビケン」については、他の生ワクチンとは27日以上の間隔を置いて接種してください。

予防接種健康被害救済制度

市町村長が実施する予防接種法に基づく予防接種により健康被害があり、その請求について予防接種との因果関係を厚生労働省大臣が認定した場合、市長村長は医療費・医療手当・障害年金・遺族年金・遺族一時金・埋葬費の給付を行います。

また予防接種法にかかわらず、医薬品による重い副作用が生じた場合には、独立行政法人医薬品医療機器総合機構法に基づく救済制度があります。

費用免除について

以下の方は、接種費用が免除となります。

- ①生活保護受給者
- ②中国残留邦人等支援給付受給者
- ③原発避難者特例法に基づき

指定市町村から避難している方

※台風により被災した方で、**被災日から1年以内**の接種であれば費用が免除となる場合があります。

※接種期間中に免除対象となった方は予診票を再発行いたします。必ず接種前にお問い合わせください。

令和7年度 帯状疱疹 予防接種 予診票
対象年齢：65歳の者（2029年度までは、各年度内に65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳以上（令和7年度のみ）になる者も対象）
60歳以上65歳未満で、ヒト免疫不全ウイルスにより、免疫の機能に障害を有する者

八千代市	受診日	西暦	年	月	日	診察前の体温	度	分
住 所								
整理番号（市町村交付）							自己負担金	
フリガナ							生年月日	（ 満 歳 ）
受ける人の氏名								

予診票内の自己負担金欄に「0円」と印字しています。

問い合わせ先

八千代市 健康づくり課 健康支援班

〒276-0042 八千代市ゆりのき台2-10 八千代市保健センター内

電 話：047-483-4646

FAX：047-482-9513

※接種の予約は各医療機関にご連絡ください。